

専修寺には国宝が4件

三重県内にある国宝6件中、専修寺は、御影堂と如来堂のほか、下の写真2件の国宝を持っていて、合計4件の国宝が、私たちの住む津市にあります。



親鸞直筆の国宝「三帖和讃」

仏の教えを称える讃歌（和讃）を、3冊にまとめたもので、親鸞の代表作。



親鸞直筆の国宝「西方指南抄」

親鸞の師である「法然」の教えや行動をまとめたもの。

専修寺略年表

西暦	できごと
1226	下野国高田（栃木県真岡市）に専修寺が建てられる
1464	一身田に寺院（無量寿院）が建てられる
1548	このころより無量寿院が専修寺と呼ばれるようになる
1580	専修寺火災により焼失する
1588	専修寺建物を再建する
1645	一身田村の大火により専修寺建物が焼失する
1658	津藩より専修寺へ境内地が寄進される
1666	御影堂が建てられる
1704	山門が建てられる
1748	如来堂が建てられる
1760	茶所がこのころ建てられる
1761	対面所が建てられる
1762	太鼓門がこの年までに建てられる
1800	通天橋が建てられる
1844	唐門が建てられる
1878	賜春館が建てられる
1983	如来堂大改修工事（～1990）
2000	御影堂大改修工事（～2008）
2013	専修寺11棟重要文化財指定
2017	御影堂・如来堂国宝指定

交通アクセス

【鉄 道】

- J R 一身田駅より 徒歩約5分
- 伊勢鉄道東一身田駅より 徒歩約10分
- 近鉄高田本山駅より 徒歩約20分

【自動車】

- 国道23号栗真中山町交差点より約10分
- 伊勢自動車道津インター・芸濃インターより約15分



【発行】平成30年12月 津市教育委員会

ちゅう がく せい ばん
中学生版

国 宝

せん じゅ じ
専修寺

み えい どう によ らい どう
御影堂・如来堂



国宝ってなに？

じゅうようぶんかざい せかいぶんか けん
重要文化財のうち、世界文化の見
地から価値の高いもので、他に類
例のない「国民の宝」をいいます



わたし す つ し み え けん ない はつ こく ほう たて もの み
私たちが住む津市にある三重県内初の国宝の建物を見てみよう

つ し どう が み
津市ホームページもチェック！動画も見られるよ →

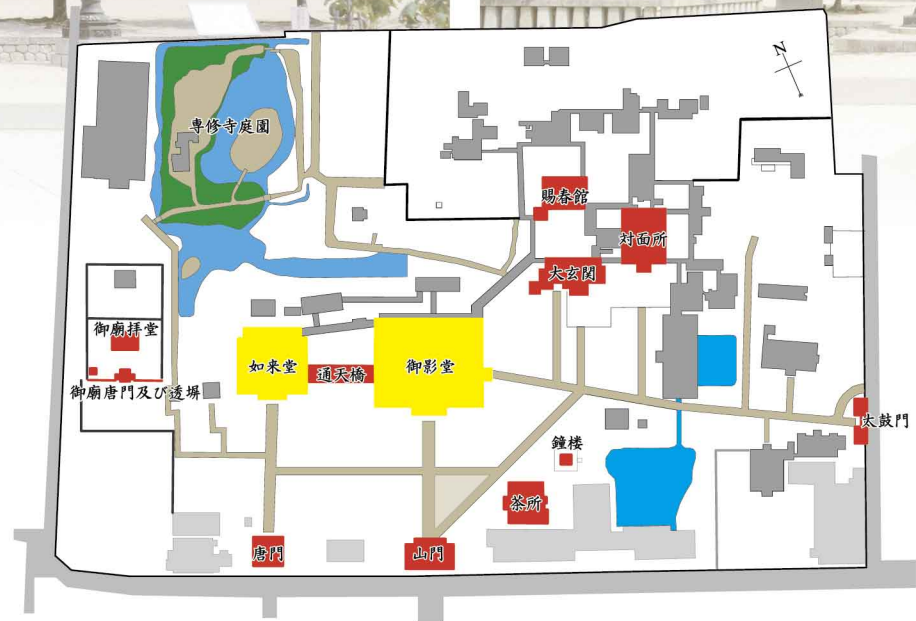


こく ほう によ らい どう 国宝 如来堂

1748年に建立。2階建てのように見えるこのようなお堂の形式では、日本では最大級を誇るよ。御影堂の半分の広さですが、構造を工夫して高さは揃えてあるよ。

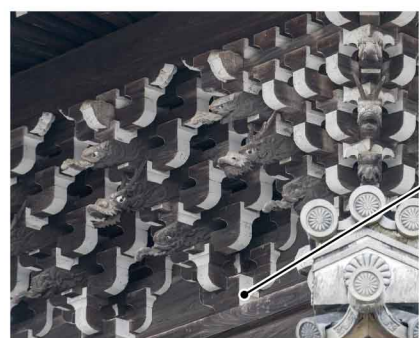


せん じゅ じ けい だい す 専修寺境内図



そと がわ 外側

屋根の下には、よく見てみると、上から順に猿・龍・象の彫刻が組み込まれているよ。しかも、口を開けたものと閉じたものが交互に並んでいるよ。



ばく くりゅう ぞう ちようこく
猿・龍・象の彫刻

うち がわ 内側

内部には、正面の金色に輝く欄間や柱の梁に様々な彫刻が見られるよ



はり どう ぶつ ちようこく ざる
梁には動物彫刻（猿）



らん ま がっ き ちようこく ぶえ
欄間には楽器の彫刻（笛）

たくさんの彫刻があるからをさがしてみよう



こく ほう み えい どう 国宝 御影堂

1666年に建立。日本にある国宝の木造建築物のなかで5番目の大きさがあるよ。お堂のなかは、畳780枚分の広さがあるよ。



黄色の建物は国宝
赤色の建物は重要文化財

そと がわ 外側

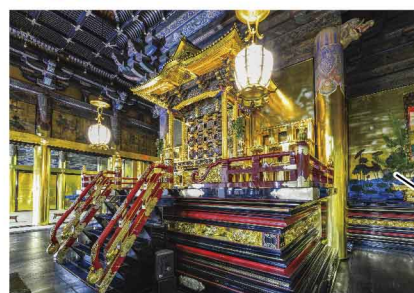
屋根の下には金色のひげを付けた龍の彫刻が口を開けて並んでいるよ。



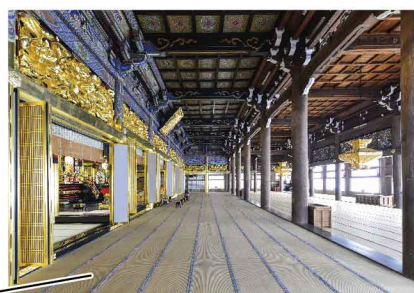
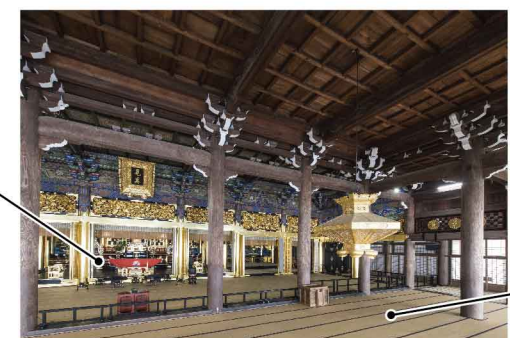
りゅう ちようこく
龍の彫刻

うち がわ 内側

天井までの高さ約8m。広い空間では一度に約2,000人がお参りできるよ。



ちゆうしん ごう か そうしやく くらん
中心に豪華な装飾の宮殿



ない ぶ いち めん たたみ し
内部は一面の畳敷き

せん じゅ じ とうきよう こ ぶん やく ひろ こく ほう くに し ていじゅうよう ぶん か ざい たてもの とう けい だい さん さく たてもの さが
専修寺は東京ドーム2個分（約90,000㎡）の広さで、国宝のほかに、国指定重要文化財の建物が11棟！境内を散策して建物を探してみよう